

第7回 平成23年度 ベストエコドライブ・コンテスト筆記試験

〈一般常識〉

- 問1 クレーム対応のポイントとして、「トラブルから逃げない」「苦情を言うお客様を悪者扱いしない」「大切なお客様として扱う」ことが大事である。
- 問2 今年3月に発生した東日本大震災では、警察庁のまとめによると8月15日現在、15,000人以上の方々が亡くなっている。
- 問3 めまい、失神、筋肉痛、筋肉の硬直、大量の発汗などの症状が現れたとしても、熱中症を発症した可能性はない。
- 問4 トラック輸送は、国内貨物輸送の9割以上を担(にな)うなど、今や国民生活と経済に不可欠な存在である。
- 問5 エコドライブとは、駐停車中にエンジンを停止するアイドリングストップや急発進急加速を避けた等速運転などを励行(れいこう)する環境に優しい省エネルギー運転のことで、環境の保全と運行経費の削減効果をもたらすものであるが、交通事故の防止には寄与しない。
- 問6 運転者は、運行管理者が行う乗務前点呼、乗務後点呼や乗務途中の点呼を受けて、規定された報告をしなければならない。
- 問7 トラック運転者は、運転開始後5時間以内又は5時間経過直後に30分以上の休憩等を確保することにより、運転を中断しなければならない。
- 問8 高速自動車国道の非常用電話は、1キロメートル(トンネル内は200メートル)毎に設置されている。
- 問9 平成23年中の鹿児島県内における交通事故死者数を年齢別にみると、65歳以上の高齢者が最も多く全死者数の5割以上を占めている。
- 問10 交通事故を起こしたときは、刑事上・行政上の責任は運転者が負い、民事上の責任は全(すべ)て保険会社に負わせる。

〈運転常識〉

- 問11 交差点で信号に従って右左折するとき、同じ信号に従って横断する歩行者がいる場合は、その直前で一時停止し、道を譲(ゆず)らなければならない。
- 問12 高速道路での最高速度は大型バス100キロメートル毎時、大型トラック90キロメートル毎時、最低速度は50キロメートル毎時、ETCのゲートは20キロメートル毎時である。
- 問13 酒気帯び運転になるのは、呼気中アルコール濃度1リットル当たり0.5ミリグラム以上である。
- 問14 車両は、火災報知機から3メートル以内の部分においては、駐車してはならない。
- 問15 大地震が発生したときに、やむを得ず路上に車を置いて避難するときは、エンジンを止め、キーはつけたままとし、窓を閉め、ドアはロックしないこと。
- 問16 大型自動車の積載物の幅は、自動車の幅を超えてはならない。
- 問17 車両等は、信号機の表示する信号の種類が黄色の灯火のときは、停止位置を超えて進行してはならない。ただし、黄色の灯火の信号が表示された時において当該停止位置に近接しているために安全に停止することができない場合を除く。
- 問18 進行中の車両から、火のついていないタバコを道路上に投げる行為は、道路交通法で禁止されている。
- 問19 けん引するための構造・装置を有する大型自動車によって、車両総重量が750キログラムをこえる車両をけん引する場合は、その自動車の免許のほかに「けん引免許」がなければならない。
- 問20 車両の後部座席でのシートベルト着用は努力義務である。

〈車両常識〉

- 問21 日常点検は、2日に1回、運行の開始前に行う点検のことである。
- 問22 エンジンオイルは粘度が高いほど燃費が良くなり、粘度が低いほど燃費は悪くなる。
- 問23 ラジエータ・サブ・タンク又はリザーバ・タンク内の冷却水面が「MAX」～「MIN」の線の間であれば適正である。
- 問24 タイヤには進行方向を維持し、又は転換する機能があり、かじ取り車輪のタイヤ空気圧が左右均等でない場合には、空気圧が高い方にハンドルを取られる。
- 問25 ハイブリッド車とは、例えば、従来のガソリンエンジンと電気モーターを組み合わせた自動車をいい、走行の状況に応じてガソリンエンジンと電気モーターを作動させることで、通常のガソリンエンジンよりも燃費効率が良く、地球温暖化の原因となる二酸化炭素などの排出を抑えることができる。
- 問26 低速ギアのままスピードを上げると、エンジンの回転数がどんどん高くなり、その分燃費が悪くなる。
- 問27 エアロパーツは、空気抵抗を減らし、省燃費をもたらす装着部品である。低速走行割合が多い車両に有効である。
- 問28 夜間は、原則として上向きライトで走行しなければならない。
- 問29 車が衝突したときの衝撃力は、速度の2乗に比例して大きくなる。
- 問30 スピードが速くなればなるほど「動体視力」は良くなる。